

女性活躍社会へ提言

県経済同友会
委員 会
野田担当相に

県経済同友会の女性活躍を考える委員会は10日、岐阜市湊町のホテルパークで、女性が活躍できる社会の構築に向けた施策を盛り込んだ提言書を野田聖子女性活躍担当相に提出した。提言では、地方の既婚女性が活躍できる社会づくりが重要と指摘。配偶者控除制度の見直しや、健康で意欲的な60歳以上の「アクティブシニア」が保育に参加する必要性、政治の場での女性の活躍を訴えた。アクティブシニアに関連した施策では、3世代同居の推進のほか、企業主導型保育所で子育て支援員の資格を持つ定年退職者を保育従事者に充てた場合の運営費の助成拡大などを求めた。

中村正筆頭代表幹事(秋



野田聖子女性活躍担当相(左から3人目)に提言書を手渡す中村正筆頭代表幹事(同2人目)ら＝10日午後、岐阜市湊町、ホテルパーク

田屋本店社長)、辻雅文委
員長(インフォアーム副
社長)、森田順子副委員長
(岐阜放送社長)が野田氏

に提言書を手渡した。中村筆頭代表幹事が「提言を国政に反映させてほしい」と要望すると、野田氏は「ポジティブな提言でありがたい。もっと地方から声を上げてほしい」と応じた。

(高橋友基)